

2020年10月28日

公益財団法人かながわトラストみどり財団様助成事業  
『かなユリ・チャレンジ』プロジェクト（秋の作業）

（社福）進和学園 & （株）研進

本プロジェクトは、2017年11月に開始し間もなく3年が経過しますが、2020年10月28日（水）、秋の作業を下記の通り実施しました。

1. 葉が枯れた苗木の球根の掘出し



福祉工場「しんわろネッサンス」（神奈川県平塚市）の中庭で栽培しているヤマユリ／葉が枯れ茎が茶色に変色してから球根を掘り出した。



本年度は大中小の3サイズ3粒の球根を植えた。真中に植えた大サイズは今夏に3輪の花を咲かせ、左の中サイズは1輪の花を咲かせた。何れも植え付けた時よりも球根は一回り大きく生長している。右の小サイズは、茎が伸びる途中で折れてしまい生長が阻害され球根の鱗片が腐敗してしまったようで植え付け時よりも小粒になってしまった。





左上：大サイズの球根 直径6 cm程に生長している。  
左下：中サイズの球根 直径4 cm程に生長している。  
球根の外側の鱗片が一部剥がれたが、鱗片から  
発根する可能性もあるので確保しておく。  
上：大サイズの球根 鮮やかな黄色が美しい。



球根は、一粒ごとに  
バーミキュライトに水分  
を加えて保湿してジップ  
ロックに入れて保管する。



## 2. 種子から発芽した2年目の小球根をプランターから取り出し保管



昨年12月4日にプランターに1年目の小球根を15粒程植え、今春、2回目の発芽に成功。その後、葉が枯れて消滅したものもあり、現在も葉が残っているのは7~8本であった。注意深く小球根を取り出し、トレーに並べて写真撮影。葉が枯れて消滅した小球根も無事に細い根を伸ばした状態で回収出来た。



昨年2019年12月4日にプランターに植えた1年目小球根(左)と比較すると、全てではないが明らかに大きく生長している小球根が認められる。小球根も、パーミキュライトに水分を加えて保湿しジップロックに入れて保管する。尚、プランターにおいて「鱗片」からの栽培にも挑戦したが、残念ながら鱗片は腐食して土に返ったようで回収することは叶わなかった。「鱗片」からの栽培は難しいようだ。

以上